

平成 20 年度 指定管理者施設管理評価シート

部

保健福祉部

課

高齢福祉課

施設名	まつがや高齢者在宅サービスセンター	指定管理者の名称	社会福祉法人 東京援護協会										
1. 指定管理者の概要													
①業務内容	高齢者部門＝特別養護老人ホーム(4施設)、ケアハウス(1施設)、高齢者在宅サービスセンター(6施設)、居宅介護支援事業所(6施設)、在宅介護支援センター(2施設)、地域包括支援センター(3施設) 障害者部門＝知的障害者更生施設(2施設)、知的障害者授産施設(4施設)、身体障害者授産施設(3施設)、地域活動支援センター(1施設)、福祉ホーム(1施設) その他部門＝措置施設(3施設)												
②類似施設の管理実績	特別養護老人ホーム4施設												
③経営状況	(19年度決算ベース) [社会福祉事業会計] 歳入 3,455,227,117 円、歳出 3,414,968,219 円、収支差額 40,258,898 円 [社会福祉授産特別会計] 歳入 1,008,370,095 円、歳出 996,736,540 円、収支差額 11,633,555 円												
2. 施設の概要													
①所在地	台東区松が谷4-4-3												
②設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。												
③利用者	要支援・要介護と認定された高齢者												
④開館日・開館時間	月曜日から土曜日(年始1月1日～3日を除く) 8時30分～17時15分												
⑤規模	延べ床面積 4,671㎡のうち1,306㎡ ケアハウス松が谷内 鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄筋コンクリート造 地上8階地下2階のうち2階の一部												
⑥人員体制	17名(内訳) 施設長(1)、次長(1)、生活相談員(2)、看護師(2)、介護職員(常3、非7)、事務職員(1)												
3. 事業(サービス提供)の概要													
①委託事業	①通所介護サービス(送迎、食事、生活介護、機能訓練、口腔ケア、栄養指導、レクリエーション、相談等)、②介護予防通所介護サービス(送迎、食事、運動器機能向上訓練、口腔ケア、栄養ケア、アクティビティ等)(定員は2つの事業を合わせて1日あたり35名)												
②自主事業	自主事業は行っていない												
4. 施設の稼働状況等													
19年度延べ利用人数													
単位時間	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
通所介護 6~8	434	417	415	406	446	428	492	510	496	439	474	539	5,496
通所介護 4~6	53	54	51	60	61	55	62	52	58	54	53	58	671
通所介護 3~4	33	33	20	20	20	19	21	8	11	7	12	12	216
通所介護 2~3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防通所介護	159	187	188	178	179	166	182	171	172	167	186	182	2,117
計	679	691	674	664	706	668	757	741	737	667	725	791	8,500
利用率(%)	77.6	73.1	74.1	73.0	74.7	76.3	80.1	81.4	81.0	79.4	82.9	86.9	78.3
5. 予算決算の推移 (単位:円)													
年度		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度							
予 算	負担金補助及び交付金	42,939,000	39,379,000	23,840,000	22,800,000								
	料金収入等	56,844,000	69,022,000	80,025,000	79,884,000								
	管理経費	99,783,000	108,401,000	103,865,000	102,684,000								
決 算	負担金補助及び交付金	34,772,673	32,401,202	33,719,466									
	料金収入等	59,237,459	81,063,370	76,766,043									
	管理経費	96,446,661	103,585,106	109,408,672									
	収 支	-2,436,529	9,879,466	1,076,837									

6. 評価項目		
3：期待以上の成果が見られる。 2：おおむね期待どおりの成果である。 1：さらなる改善が必要である。 ー：評価対象外項目		
評価の観点	評価項目	
①事業の運営 平均 [2.2]	(1)施設の目的達成 [2] (2)サービス水準 [3] (3)職員配置 [2] (4)職員研修 [2] (5)案内・接遇 [2]	(6)開館時間等の遵守 [2] (7)自主事業の成果 [ー] (8)個人情報保護 [2] (9)緊急時対応マニュアル [3] (10)警備・防犯体制 [2]
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1)建物保守・設備機器点検 [2] (2)備品の管理 [2] (3)清掃・衛生管理 [2] (4)施設の修繕 [2]	(5)危険箇所等の確認 [2] (6)管理記録の作成・保存 [2] (7)業務委託の事前承認 [2] (8)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
③利用者の満足度 平均 [2.4]	(1)利用者・第三者機関の評価 [2] (2)苦情・要望への対応と報告 [3] (3)利用者数の目標達成 [2]	(4)利用しやすい環境整備 [2] (5)関係団体・地域との関わり [3]
④歳入歳出 平均 [1.8]	(1)適正な予算執行 [2] (2)経費縮減のための取組み [2]	(3)収支計画の達成 [1] (4)利用料等の徴収・管理 [2]
7. 評価		
A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。		
評価の観点	評価	説明
①事業の運営	A+	利用者の満足度が高く、質の高いサービス提供が行われている。また、利用者に対し毎日食事アンケートを実施するなど、更なるサービス向上に努めている。
②施設の維持管理	A	利用者の利便性に配慮し、適切に維持管理されている。
③利用者の満足度	A+	利用者からの要望・対応等を毎日ノートにまとめることにより、職員間で周知徹底を図っている。また、地域との交流だけでなく、積極的にボランティアや実習生を受け入れ、事業の活性化につなげた。
④歳入歳出	A-	利用率は確実に伸びているものの目標には到達せず、料金収入が予算額を下回っている。経費についても削減の努力はなされているが、再度見直しの必要がある。
⑤総合評価	A-	サービス内容が工夫されており、利用者が楽しみ満足できるサービスが提供されているが、収支については徹底した見直しを行い、何が課題なのかを明確にする必要がある。
8. 課題への対応等		
サービス内容については高い水準であるが、利用率及び収支については課題が残る。 利用率の目標達成のために更なるサービスの向上を図るとともに、管理経費の削減に向けた業務委託の見直しを徹底し、業務委託費の削減を図っていく。		